

加盟団体  
アルペン競技担当者各位

公益財団法人全日本スキー連盟  
アルペン部長 岩谷 高峰  
ルール・公認・施設小委員会委員長 児玉 修

### 2015/2016 シーズンアルペンマテリアルルール変更について（再通知）

日頃より、競技本部の活動に対してご尽力をいただき心からお礼申し上げます。  
さて、標記について 5 月 24 日の平成 27 年度春季アルペン部技術・運営委員会において  
審議され決定いたしました「2015/2016 シーズンマテリアルルール変更について」5 月 29 日に  
SAJ27 競第 715 号にて通知いたしましたが内容に一部修正があったため取下げをいたしました、  
再度修正したものを通知いたしますので下記についてご確認の程何卒宜しくお願い致します。

#### 記

##### 1. ヘルメットについて

2014-2015 シーズンは S A J、A 級・B 級大会（チルドレンカテゴリーは除く）においては新規格ヘルメットの着用は推奨となっておりましたが、2015-2016 シーズンより着用が義務づけとなります。（※FIS レースは、2014-2015 シーズンから義務づけとなっています。）

※新しい規格のヘルメットとは、FIS 新規格に対応し FIS 対応ステッカーなどにより明示されているもの。

※このヘルメットルールは、DH・SG・GS 競技に適用されます。

##### 2. U16、U14 の競技スキーについて

2015-2016 シーズンの U14/U16 の競技スキールールに関しては下記ようになります。

①U14 の SG 及び GS 種目の競技スキーについて、2015-2016 シーズンは「推奨」となります。

②U16 の SG 種目は「推奨」となりますが、GS 種目の競技スキーについては「FIS ルール通り義務づけ」となります。

※別表「2015/2016 シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて」参照

※5 月 29 日通 SAJ27 競第 715 号からの修正点 別表「2015/2016 シーズン スキー用具に関わる国内ルールについて」参照

**修正前** U14GS ⇒最大スキー長 188cm ラディウス  $R \geq 17$

■スキー長・ラディウス共に**義務づけ**

**修正後** U14GS ⇒最大スキー長 188cm ラディウス  $R \geq 17$

■スキー長・ラディウス共に**15-16 シーズンは推奨**

2015/2016シーズン スキー用具に係る国内運用ルールについて

SAJ競技本部 アルペン技術運営委員会決定事項

種 目		D H				S G				G S				S L	
		女子		男子		女子		男子		女子		男子		女子	男子
1.2.1.2.2	ビンディングより前方部分の最大スキー幅	≦95mm		≦95mm		≦95mm		≦95mm		≦103mm		≦98mm			
1.2.1.2.1	ビンディング下部分の最も細い部分の幅	≦65mm		≦65mm		≦65mm		≦65mm		≦65mm		≦65mm		≧63mm	
カテゴリー／大会		◎スキー長は最短の長さ CM(センチメートル) ※U14/U16 GSは最大スキー長 ◎ラディウス(R) 最小弧 M(メートル)													
		スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス
COC	コンチネンタルカップ	210	50	218	50	205	40	210	45	188	30	195	35	155	165
FIS/NC	FISレース 全日本スキー選手権	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
SAJ-A級	インカレ 学生チャンピオン					200	40	205	45	183	30	190	35	155	165
	インターハイ・高校選抜 (高校1年生早生まれ含む)					200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
	国民体育大会 (中学3年生・高校1年生早生まれ含む)									183	30	190	35		
SAJ-B級 (チルドレンレースは除く)	全選手共通 (中学3年生・高校1年生早生まれ含む)	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	190	35	155	165 ※1
チルドレンレース (SAJ-B級) 全国中学 ジュニアオリンピック 全日本ジュニア選手権SG (中学生の部)	U14(14歳未満)					スキー長・ラディウス共に 体格、体力、技能に適応したスキー				最大スキー長 188cm ラディウス R≧17 ■スキー長・ラディウス共に 15-16シーズンは推奨				130	130
	U16(16歳未満)					最小スキー長 183cm ラディウス R≧30 ■最小スキー長・ラディウス共に 15-16シーズンは推奨				最大スキー長 188cm ラディウス R≧17 ■スキー長・ラディウス共に 義務づけ				130	130

※1 : U18(1年目・1999年生れ)SLにおいては、-10cmの許容差を認める

※ : スキー長は(+1cmの許容範囲)が認められる

スキー高	スキー板+プレート+ビンディング	50mm 全種目、全カテゴリー、男女共通
------	------------------	----------------------

ブーツ高	すべてのハードおよびソフトパーツを含む ヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔	43mm 全種目、全カテゴリー、男女共通
------	---	----------------------

ヘルメット	FISレースは14-15シーズンより、SAJ-A級大会・B級大会(チルドレンカテゴリーは除く)は、15-16シーズンより新規格のヘルメット着用を義務付けとする。 新規格ヘルメットには、新規格対応表示(FIS新規格対応ステッカーなど)が明示されていなければならない。新規格ヘルメットルールはDH、SG、GS競技に適用される。	
-------	--	--

※ 本書はファックスによる伝達を禁じます。

FIS競技用品ルールの抜粋

1.2.1.1	<p>スキーの長さ(最短長)</p> <p>★最短長とは最も短い長さを言う</p> <p>※ DH/SG/GS:FISレースのみ-5cm許容差を認める。</p> <p>※ SL:男子U18(ジュニア1)においては、FISレースにおいてのみ、-10cmの許容差を認める。</p>	ワールドカップ	W	C	FIS		
		ヨーロッパカップ	E	C			
		コンチネンタルカップ	C	O			
		世界ジュニア選手権	W	J			
		五輪冬季大会	O	W			
		世界選手権	W	S			
		滑 降	DH	女子		210	205
		滑 降	DH	男子		218	213
		スーパー-G	SG	女子		205	200
		スーパー-G	SG	男子		210	205
大回転	GS	女子	188	183			
大回転	GS	男子	195	190			
回 転	SL	女子	155	155			
回 転	SL	男子	165	165			
U-18男子(1999年生)-10cm許容差を認める↑							
1.2.1.2.1	<p>ビンディング下部分のスキーの幅</p> <p>いわゆるブーツセンター位置など、スキーの幅の最も狭い部分の値</p>	滑 降	DH	女子	65mm以下		
		滑 降	DH	男子	65mm以下		
		スーパー-G	SG	女子	65mm以下		
		スーパー-G	SG	男子	65mm以下		
		大回転	GS	女子	65mm以下		
		大回転	GS	男子	65mm以下		
		回 転	SL	女子	63mm以上		
		回 転	SL	男子	63mm以上		
1.2.1.2.2	<p>ビンディングより前方部分のスキーの幅</p> <p>先端からトゥピースまでの間で最も広い部分の幅長</p>	滑 降	DH	女子	95mm以下		
		滑 降	DH	男子	95mm以下		
		スーパー-G	SG	女子	95mm以下		
		スーパー-G	SG	男子	95mm以下		
		大回転	GS	女子	103mm以下		
		大回転	GS	男子	98mm以下		
		回 転	SL	女子			
		回 転	SL	男子			
1.2.1.2.1	<p>ラディウス(最少弧)</p>	滑 降	DH	女子	50 m		
		滑 降	DH	男子	50 m		
		スーパー-G	SG	女子	40 m		
		スーパー-G	SG	男子	45 m		
		大回転	GS	女子	30 m		
		大回転	GS	男子	35 m		
		回 転	SL	女子			
		回 転	SL	男子			
2.1.2	<p>スキー高 (スキー/プレート/ビンディング)</p>	50 mm 以内					
3.2	<p>スキーブーツ</p> <p>ブーツ底面からヒールのベースまでの間 (すべてのパーツを含んだ高さ)</p>	43 mm 以内					